



永代経法要・お勤め中の様子



第53号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号

Tel: 078-341-5949

永代経法要、勤まる ～永代にみ教えが伝わることを願って～

6月23日（日）、本願寺神戸別院の永代経法要がお勤まりになりました。約60名の門信徒が参拝され、莊厳な雅楽のしらべで始まつた仏説無量寿經のお勤めに耳を傾けました。お勤めの後は、兵庫県伊丹市最光寺の杉本照顕師にご法話のお取り次ぎをいただきました。

永代経法要とは

「永代経法要」とは、「先代や先々代、ご先祖の方々から、現在の私たちまで伝わってきたお經（お念佛のみ教え）が、子や孫、その先の世代まで、永代にわたってお勤まりになるように」という願いを込めておつとめする法要」のことです。

似ている言葉として、一般に「永代供養」という言葉がありますが、浄土真宗では「供養する」という言葉を使いません。これはこの娑婆世界において命を終えたとき、お淨土に往生させる、阿弥陀さまのお念佛のおはたらきがあるからです。そのため、私たちが

お念佛を称える、お經を勤める」とことで故人を「供養」することはありません。このように、永代経法要は、先にお念佛された故人のご遺徳を偲び、このお念佛のみ教えを次の世代へ伝えていく大切な法要です。

仏説無量寿經のお勤め

また、「無量寿經作法」の中でお勤めされた「仏説無量寿經」は、お釈迦様が説かれたお經の中で、お念佛のみ教えが説かれているものとして、浄土真宗で最も大切にされているお經です。その一節に、阿弥陀さまが立てられた「48個の願い（四十八願）と呼ばれる」が説かれており、その中の第18番目の願いとしてすべての人々を救う念佛の教えが説かれています。



杉本照顕師

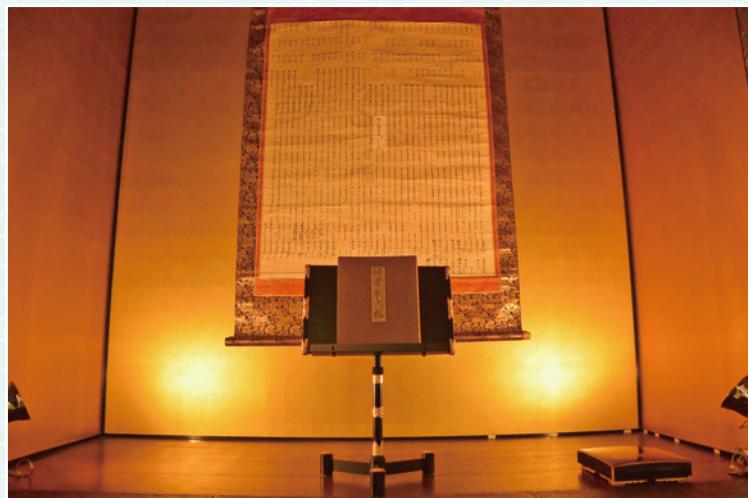
仏説無量寿經 卷上 四十八願（第十八願）

「説我得仏」「十方衆生」「至心信樂」「欲生我国」「乃至十念」「若不生者」
「不取正覺」「唯除五逆」「誹謗正法」
(たとひわれ佛を得たらんに、十方の衆生、至心信樂して我が國に生ぜんと欲ひて、乃至十念せん。もし生ぜずば、正覺を取らじ。たゞ五逆と誹謗正法とをば除く)

モダン寺で永代経法要をお勤めいたしましょう

本願寺神戸別院では、別院護持のため永代経懇志をご進納いただいた方に、それぞれの永代経法要のお勤めをいたしております。懇志額に応じて一定の期間、ご命日に読経をさせていただくほか、別院の永代経法名軸へお名前を記入し、永代経法要（6月第4日曜日に修行）の際、法名軸を余間へ奉獻させていただきます。

故人の方を偲ぶとともに、つないでくださったお念佛のみ教えを今一度、喜ばせていただきましょう。



永代経法要種別

| | | |
|------|---------|--------------|
| ・第一種 | 300万円以上 | 毎月命日個別読経50年間 |
| ・第二種 | 100万円以上 | 毎月命日個別読経30年間 |
| ・第三種 | 50万円以上 | 祥月命日個別読経30年間 |
| ・第四種 | 30万円以上 | 祥月命日総読経20年間 |
| ・第五種 | 20万円以上 | 祥月命日総読経15年間 |
| ・第六種 | 10万円以上 | 祥月命日総読経10年間 |
| ・第七種 | 5万円以上 | 祥月命日総読経8年間 |
| ・第八種 | 3万円以上 | 祥月命日総読経5年間 |



上記、永代経懇志が10万円以上（第六種以上）の場合は

納骨永代経開闢法要（初回の法要）

ご命日の読経を始めさせていただく前に、
最初に本堂で法要をお勤めさせていただきます。

お問い合わせ・お申込みは、本願寺神戸別院まで

☎078-341-5949(代)

モダン寺で聞く毎月第一土曜の仏教講座

今を生きやすくする十の講座

本願寺神戸別院では、毎月第一土曜日の午後1時30分から「モダン寺第一土曜仮教講座」を開催しております。

モダン寺第一土曜仮教講座では、遠近各地から有名な布教使の方や、大学講師をされている方、仏教に関わる業種にお勤めの方など幅広い方々を講師にお迎えしております。佛教とは？浄土真宗とは？初めて学ぶ初心者の方から、より深く学んでみたいとお考えの方まで、神戸別院で一度受講してみませんか。

2020年3月まで全10回。講題が決まっているので、興味がある講座へぜひ、足を運んでみてください。

④7月「怠り捨つることなし」

／野村康治（大阪府・大阪市）

⑤8月「お聴聞の心得」

／赤井智顕（兵庫県・西宮市）

⑥9月「願わくは此の功徳を以つて」

／内田正祥（三重県・四日市市）

⑦10月「念佛の利益」

／加末宗悦（福岡県・筑城市）

⑧11月「淨土真宗のすくいとあゆみ」

／石崎博鉄（大阪府・堺市）

⑨12月「ご縁のなかで生きる」

／藤井寿昭（奈良県・橿原市）

⑩3月「幸せつながる5つのキーワード」

／宮川富子（滋賀県・彦根市）

※毎月第一土曜日（12月・1月は休座）開催。
事前申込不要。受講料1,000円。

自分を見つめなおす
杉本 正信

お盆が仏教の行事であることを知つていても、お盆がどんな行事かを知つている人は多くはないと思います。

お盆はウランバナという古いインドの言葉を漢字で盂蘭盆と音写し、盆と略した言葉です。ウランバナを漢訳すると、倒懸となります。倒懸とは「倒（さかさま）に懸（ぶらさげ）られた非常に苦しい状態」のことです。このような状態にあるのが死者（先祖）だとして、お盆を死者のための儀礼として法要が営まれているようです。

しかし、倒懸しているのは死者ではなく、今を生きているこの私のことではないでしょうか。

なぜなら、他の人のことは知らなくとも、自分のことは自分が一番よくわかる（倒懸）ような経験は一度もないと思つてゐるからです。

私たちは、他の人の顔は見えますが、一番近い自分の顔は、鏡がないと見えません。私たちは他の人がやつてることはよく見えますが、自分のやつてることは、わかつてゐるようでわかつてないことが多いのです。

「み教えの鏡」の前に立たないと気づかないことが多い私たちなのです。だから、「彼の考え方は間違つてゐる」人が、「自分の考え方は間違つてゐる」と思つてゐる

「彼女は自分のことがわかつてない」と言う人が、「自分の考えは間違つてゐる」「私は自分ことがわかつてない」とは言いません。

人間のありのままの姿に目覚めら

れた釈尊のみ教えに遇つて、自分自身の倒懸の姿に目覚めることが、倒懸の非常に苦しい状態から解放される第一歩なのです。

私たちは自分の見方、考え方、生き方を是とし、知らず知らずのうちに、他の人の見方、考え方、生き方を非としていることが多いのです。それで、回りの人の言葉に耳を傾けるよりも、自分の思いを前面に出し、優先して、自分の心身を煩わし悩ます「煩惱」の命ずるままに生きることとなります。その結果が倒懸という悲しい人生になるのです。

私たちには人生が少し思うようになると貪欲（むさぼり）の煩惱の命ずるままに生きるようになります。その結果多くのものを手にしますが、手に入れたものに対する「よろこび」の心を失つていいきます。そして不安の思いだけが増していくのです。このようないのち」のありがたいのです。

「忙しい忙しい」と日々仕事や目先のことに追われて、ゆっくりと自分自身がどうなつているのか見つめ直す大切な仏教行事がお盆なのです。

暑いこの季節だからこそ、数日でもゆっくりとご先祖を偲び、仏陀のみ教えを聞き、縁あって人間の「いのち」を与えられ、多くの人に支えられてある今の自分を見つめ、一度とないやり直しおきかない日々をどう生きるか見つめ直したいものです。

法座案内

8月

1日～3日 朝7時から

暁天講座

1日目 講師：四夷法顕師
(西宮市信行寺)2日目 講師：津守秀憲師
(神戸市徳本寺)3日目 講師：別所法宣師
(神戸市教覚寺)※3日とも法座後に
お斎の接待がございます。

3日 昼13時30分から

第一土曜仏教講座

講師：赤井智顕師

(西宮市善教寺)

7日 昼13時30分から

仏教婦人会定例法座

講師：網干善一郎師

(高砂市善行寺)

15日 昼14時から

盂蘭盆会

講師：杉本正信
(本願寺神戸別院輪番)

お盆のお参りのお知らせ

2019(令和元)年 お盆のお参り期間：

8月9日(金)～8月15日(木)

はがきにてご案内いたしますので、日程にご都合が悪い場合はご連絡ください。

TEL 078-341-5949 (本願寺神戸別院・モダン寺)

お盆期間～本堂のお勤めのご案内～

本堂で別院門徒様向けのお盆のお参りを行います。自宅のお盆のお参りに都合がつかない方、これまでお寺にお参りする機会が少なかった方、納骨所をお持ちの方は、ぜひ神戸別院へお参りください。

期間 8月11日(日)～8月14日(水)の4日間 (※15日は14時から盂蘭盆会を修行)

時間 11時～、14時～ の1日2回(20分程度)

※希望される方は、開始15分前を目途に本堂へお越しください。

※ご懇志のご進納をお願いいたします。事前にお申込みいただく必要はありません。

※過去帳をご持参いただきましたら、ご仏前へ奉獻してお勤めいたします。



四月一日付で閔順慈氏(兵庫教区神戸中組正應寺)、山蔭七歩氏(大阪教区茨木東組常稱寺)が書記・承仕として入所致しました。

やまかげ ななほ
山蔭 七歩 氏せき じゅんじ
閔 順慈 氏

新入職員紹介